

『みのむしおたのしみ劇場』

糸あやつり人形劇団みのむしは、日本の伝統芸能「糸あやつり」を受けつぎつつ、新しいスタイルのさまざまな人形劇作品を数多く(約1000体)つくってきました。大人も子どももおなかの底から笑い、目をかがやかせて体感する人形劇をどうぞお楽しみください😊

日時/8月4日(日) 15:15 開場 15:30 開演

場所/あしたむらんど下條 かいぎ室

上演/糸あやつり人形劇団みのむし(京都市)

☆ふくわじゅつ?? 「ピノキオ君のごあいさつ」

木でできた人形のピノキオくん、ごあいさつもじょうず。とくいのタップダンスも大せいこう。エッペン!「ピノキオくんは大とくいのはなたかだか!でも…。

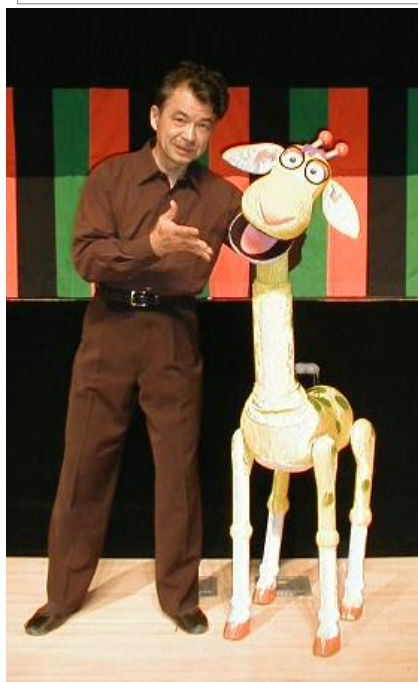
☆ミニミニマリオネットシアター「かえるの王子さま」

グリムの名作かえるの王子さまを うたがいはじめのかわいひマリオネットの人形劇にしました。かわいひばい、かわいひおひめさま、かわいひカエルが、かおを出しました…。

おとつと、おきやくさまに向かって、おしっこをしてしまいましたヨ。

☆ふくわじゅつ「キリンのリンちゃん」

大きなキリンさんが、子どもたちの目のまえにやってきて おしゃべりをします。キリンのリンちゃんとおじさんの とっても ゆかいなおはなし。



劇団プロフィール

竹田人形座出身の飯室康一によって1975年関西で設立。

主な作品として、

○NHK 教育番組『楽しい教室』
『いってみよう・やってみよう』の人形製作、操作出演。

○大阪「ワッハ上方」殿堂入り芸人の人形製作、操作出演など。

2011年京都に拠点を移し「あとリエミノムシ」で定期公演開始。製作人形の数、約1,000体。

上演時間約55分



入場無料! ワッペンはいりません。

下條村立図書館 TEL0260-27-3585

参加:事前にお申込みください。
(7月6日~受付、先着50人)

対象:2歳~楽しめます。(幼児の参加は保護者同伴でお願いします)

木や竹でつくるおもちゃの教室

参加者を募集します

今年の夏も子どもたちに大人気の「木や竹でつくる教室」を開催します！神社でおはらい(祈祷)してもらった(幸せをよぶ)木でつくる「十二支の竜」と、羽音をたててまわる「紙トンビ」の二つを、久保田寛人(ひろと)先生に教えていただきます。好評につき第6弾😊お申し込みはお早めに！

日時：8月11日(日) 10:00～12:00

①「紙トンビを作ってみよう！」

②「十二支の『竜』リュウを作ろう！」

紙トンビは、棒を上に向けて持ち、円を描くように回すと尾羽が回転し、風を切って羽音がなります。

場所：あしたむらんど下條かいぎ室

指導：久保田 寛人 先生(飯田市駄科)

2つ 800円、
1つ 400円で
作ることができます。
見本が図書館
にあります。



「十二支の『竜』リュウを作ってみよう」材料の木は神社でおはらいした縁起もの(魔除け)👉

【申込要項】

募集期間：7月6日～定員になりしだい×切
対象：どなたでも 20人まで

*年長児までの参加には、保護者同伴で
お願いします。

*必要に応じ託児を設けますので、
お申出ください。

参加費：2つセット 800円

申込先：下條村立図書館 0260-27-3585

Mail:sjbook@vill-shimojo

久保田寛人先生プロフィール

35年間、小・中学校教諭として教える。退職後、自宅にて「おもちゃ工房くぼた」を主催、各地で工作教室を行う。

飯田創造館では、「カントリー家具作り」のクラブを指導。「竜丘放課後子ども教室」に2007年から参加。

元南信美術会会長。令和4年度「県展」彫刻の部で知事賞受賞。造形作家。